

## 第13回佐野市民体育祭

9月10日まで3週をかけて市民体育祭が開催され、市内14支部を代表する選手たちが競技に取り組みました。

10日には陸上競技部門が運動公園陸上競技場で開催され、各種陸上競技のほか、綱引きや玉入れなどが行われ、多くの皆さんがスポーツを楽しみました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。



総合優勝は  
赤見支部でした



## 佐野市長旗 第22回東日本生涯軟式野球大会

この大会は、「還暦(60歳代)」「古希(70歳代)」「喜寿(77歳以上)」「傘寿(80歳以上)」の世代別に毎年開催されています。

今年の大会は9月1日から22日まで運動公園野球場を主な会場として行われ、東日本各地の予選を勝ち抜いた54チーム、1千人を超える選手たちが佐野市を訪れ優勝を目指しました。

各試合会場では、最後の一球まで決してあきらめず、年齢を感じさせない選手の好プレーと、1点を争う白熱した好ゲームが繰り広げられ、試合終了後には互いに笑顔と握手で健闘をたたえ合っていました。



## 21世紀の古代ロマン 第30回くず原まつり

8月26日・27日の両日、嘉多山公園で「くず原まつり」が行われました。

毎年恒例となった、祭りの最後を飾る「和太鼓の共演」では、各地から集まった5つの団体による和太鼓の演奏が行われました。どの団体も爽快かつ力強い演奏を披露し、会場からは大きな拍手が送られていました。

その中でも特に印象に残ったのが、きはちじょう黄八丈(八丈島に伝わる絹織物)を着た女性が演奏をしていた「八丈太鼓はなみずぎ」です。1つの太鼓を両面から2人で打ち、調和のとれた迫力ある演奏を披露していました。

このほかにも、ステージイベントや火おこし体験などのイベントが開催され、多くの人でにぎわっていました。  
(市民記者 佐藤久夫)



## 芦屋町との青少年交流事業

佐野市の天明鋳物と福岡県芦屋町の芦屋釜は、かつて「西の芦屋に東の天明」として天下にその名を知ら



れていたことから、小中学生が1年ごとにお互いのまちを訪問する形で交流が続いています。

今年は佐野市の子どもたちが芦屋町を訪問する予定でしたが、台風の影響で中止になってしまったため、8月28日に市役所市民活動スペースで佐野市の紹介発表会を行いました。芦屋町の子どもたちに紹介するために調べた佐野市の魅力について各グループが発表した後には、鋳物に関する講話と茶道体験が行われ、子どもたちは天明鋳物について理解を深めていました。



## ハートフルフェスタ

8月24日、「みんなで築こう人権の世紀」をスローガンに「ハートフルフェスタ」が開催されました。

会場には小中学生人権啓発ポスター展と小学生人権書道展の入賞作品が展示され、入賞者への表彰式が行われました。

また、元タカラジェンヌでLGBTアクティビストの東小雪さんを講師に迎え、「ありのままの自分で生きる～LGBTについて理解を深めよう～」を演題に、性的マイノリティへの理解を深め、偏見や差別をなくしていくことの必要性について、講演が行われました。



## (株)JTB関東社員と市職員の協働研修

市と「観光振興及び地域活性化に関する包括連携協定」を結んでいることから、JTB関東の採用1～4年目までの131人の社員研修が、8月21日に佐野市で行われました。

社員の方たちは唐沢山城跡や佐野厄除大師などの視察のほか、市の若手職員も参加した研修会「ミニブランドアカデミー」で市の魅力の発信方法についてグループワークを行いました。

研修を受講したJTB関東の社員は「実際に訪れたことで気づいたことが多く、今後の企画の参考になった」と話し、市の職員も民間企業の研修に参加し、刺激を受けていたようでした。



11月に「全国山城サミット in 佐野」が開催される唐沢山城跡では、観光ボランティアによる解説が行われました。

